

「次期あいちビジョン(案)」に係るご意見の概要と県の考え方

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
I 2040年頃の社会経済の展望	<p>③暮らし・労働・学びの多様化、④共助社会の必要性の増大、⑥世界的な人材獲得の競争の激化 において共に言える事ですが、近年ヘイトスピーチ等の人種差別が大きな問題となっています。今後増えていく外国人労働者や、海外の企業との提携などにおいて、ヘイトスピーチは大きな壁となってしまいます。</p> <p>その為にも是非とも県の取り組みとして、法律によるヘイトスピーチ規制法以外にも、県の条例として取り組んで頂けないかと思えます。</p> <p>同じ人間として、人種間の差別を無くしより良い愛知を作ってほしいと思えます。</p>	<p>Ⅱめざすべき愛知の姿「2. すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」において、「多様な価値観を認め合う寛容さを持ち、自分の可能性を高めて、次の時代を切り拓いていく人材を育成するとともに、すべての人が、豊かな時間を楽しみながら、望む形で役割を担うことができる社会をつくっていく。そして、「人生100年時代」において、お互いが支え合いながら、地域で安心して暮らし、生涯にわたって輝き、活躍できる社会を実現していく。」としており、人種間の差別のないあいちの実現をめざしてまいります。</p> <p>ヘイトスピーチの規制に関する条例については、今後の状況を見て適切に対応していきたいと考えています。</p>
Ⅱ めざすべき愛知の姿	<p>・首都機能移転への国への積極的な働きかけや関与 国会議員や中央行政とパイプを深めて、名古屋市エリアに誘致できるような準備をする。</p> <p>首都機能移転に必要な、海拔が高く災害リスクに強い台地エリア、水資源が豊富、日本全国からのアクセス良好。</p> <p>さらに交通インフラの良さ、防衛上日本の西過ぎず北過ぎず真ん中のための立地的優位性、そのポテンシャルを最大限に活かす。</p>	<p>ビジョンでは、「Ⅱめざすべき愛知の姿」に「4. 世界から選ばれる魅力的な愛知～県土をスマートに活用しながら、スーパー・メガリージョンのセンターを担い、首都圏の社会経済的な機能を代替しうる大都市圏へ～」と位置付けており、三大都市圏の中心に位置し、様々な交通の結節点となる本県のポテンシャルを最大限に活かし、首都圏の持つ社会経済的な機能を代替しうる大都市圏づくりをめざしてまいります。</p>
Ⅲ 2030年度に向けた基本目標	<p>ビジョンⅢ2030年度に向けた基本目標(P11)に「人権が尊重され、差別や偏見のない社会を作るためには、行政はもとより、県民一人ひとりのために努力が必要である」との文言の挿入をしていただきたい。</p>	<p>人権の尊重を含むSDGsの理念である「暮らし、経済、環境の調和」を基本目標に位置付けております。「暮らし」の中には、人権尊重の概念も含まれており、暮らし・経済・環境の3側面が調和したあいちをめざしてまいります。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
Ⅲ 2030年度に向けた基本目標	<p>重要政策の方向性でSDGsを位置づけていることについて評価いたします。SDGsの基本は「人権」です。愛知県は、1997年(H9)12月5日に「人権尊重の愛知県をめざして」の宣言を行っています。</p> <p>ビジョンⅢ2030年度に向けた基本目標(P11)に「人権が尊重され、差別や偏見のない社会をつくるためには、行政はもとより県民一人ひとりのたゆまぬ努力が必要である」との文言の挿入をしていただきたい。</p>	<p>SDGsの理念である「暮らし、経済、環境の調和」を基本目標に位置付けております。「暮らし」の中には、人権尊重の概念も含まれており、暮らし・経済・環境の3側面が調和したあいちをめざしてまいります。</p>
Ⅲ 2030年度に向けた基本目標	<p>重要政策の方向性でSDGsを位置付けていることについて評価いたします。SDGsの基本は「人権」であると思います。</p> <p>P.11 Ⅲ2030年度に向けた基本目標の中で、「暮らし・経済・環境の3側面の調和を図り」となっているところを、「環境・経済・人権や暮らしといった社会の三つの分野の調和を図り」と、暮らしだけでなく人権の文言を挿入していただきたい。</p>	<p>SDGsの理念である「暮らし・経済・環境の調和」を基本目標に位置付けております。「暮らし」の中には、人権尊重の概念も含まれており、暮らし・経済・環境3側面が調和したあいちをめざしてまいります。</p>
(概要案) Ⅳ 地域づくりの推進に当たっての横断的な視点	<p>【概要案】P.5 横断的な視点 ◆2つ目 (原文) ◆ビッグプロジェクトの効果を最大限に活用 ・ジブリパークや第20回アジア競技大会、リニア中央新幹線などの数多くのビッグプロジェクトの効果を圏域全体に波及させ、更なる成長につなげるとともに、圏域の魅力を高め、世界への情報発信を強化していく。</p> <p>(修正意見) ジブリパークや第20回アジア競技大会、リニア中央新幹線などの数多くのビッグプロジェクトの効果を愛知全体に波及させ、更なる成長につなげるとともに、<u>尾張、西三河、東三河の3つの地域</u>の魅力を高め、世界への情報発信を強化していく。</p> <p>*「あいち」ビジョンであり、「圏域」ではわかりづらいと考えます。</p>	<p>世界の大都市圏との競争に打ち勝っていくためには、広域的な視点のもとでの発展をめざしていく必要があります。ビジョンでは、名古屋を中心におおむね80～100キロ圏を中京大都市圏と位置付け、「圏域」と表現しています。その大都市圏の圏域も含めた記述としています。</p> <p>また、ここでは、愛知県全体のことについて記載しており、「尾張、西三河、東三河の3つの地域」については、「Ⅵ 地域別の取組方向」で詳しく記載しています。</p>
Ⅳ 地域づくりの推進に当たっての横断的な視点	<p>Ⅳ地域づくりの推進に当たっての横断的な視点<SDGsの達成への貢献>P13 また、女性、高齢者、若者、障害のある人、外国人県民、「<u>部落差別を受けている当事者</u>」挿入していただきたい。</p>	<p>ビジョンでは、「女性、高齢者、若者、障害のある人、外国人県民などすべての人」としており、「など」の中には、部落差別を受けている方を始め、例示できていない方も含めています。すべての人が活躍でき、誰一人取り残さない社会をつくってまいります。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
IV 地域づくりの推進 に当たっての横断的な 視点	部落差別を受けている当事者を入れて頂きたいです。	ビジョンでは、SDGsの理念を踏まえ、部落差別を受けている方を含め、すべての人が活躍でき、誰一人取り残さない社会をめざしてまいります。
IV 地域づくりの推進 に当たっての横断的な 視点	<p>・21世紀型の街づくり、町内会 少子高齢化で形骸化しつつある町内会を解体して、行政自治体で対応できるようにする。 ICT技術を使って町内会の代替機能を実現させる。 それにより、誰もが住みやすい愛知県を目指す。 また高額な町内会入町金を設置する地域には、是正指導できるようにする。</p>	町内会に関することは住民の皆様にも最も身近な市区町村の所管となりますので、いただいたご意見については市区町村に情報提供いたします。
(概要案) IV 地域づくりの推進 に当たっての横断的な 視点	<p>【概要案】P.5 横断的な視点 ◆5つ目 (原文) あわせて、市町村が最大限に力を発揮できるよう、市町村等への権限移譲や市町村間の広域連携に向けた支援に取り組んでいく。 (修正意見) あわせて、市町村が最大限に力を発揮できるよう、<u>自主的な市町村合併、市町村等への権限委譲や市町村間の広域連携</u>に向けた支援に取り組んでいく。</p> <p>* 分権型社会の構築として、「道州制の実現」をビジョンで謳うとなれば、「自主的な市町村合併」は基礎的自治体の強靱化の手法として、「最も外してはいけない」不可欠な支援と考えます。道州制は「基礎的自治体の強靱化(市町村合併等)」によって、実現の確かな一歩につながるのでは。</p>	市町村合併については、市町村の自主的な判断によるものであると考えており、県の計画で記載するのは適当ではないと考えています。自主的・主体的に合併を選択する市町村に対して、合併が円滑に進められるよう、今後も各種支援を行っていきたくと考えております。
IV 地域づくりの推進 に当たっての横断的な 視点	<p>P.14 下段○3つ目 「市町村が最大限に力を発揮できるよう、条例による…」の部分について「市町村が最大限に力を発揮できるよう、<u>自主的な市町村の合併を推進し、また、条例による…</u>」と追記</p> <p>* 大規模災害からの復興、感染症拡大・人材不足等からの地域医療崩壊回避、人口減少に伴う地域コミュニティ消滅回避、リニア開業による地域間・都市間競争激化に伴う地域弱体化回避など、リスク回避・低減の面から欠かせない取組であり、愛知の上位計画として明確にする必要があるのでは。</p>	市町村合併については、市町村の自主的な判断によるものであると考えており、県の計画で記載するのは適当ではないと考えています。自主的・主体的に合併を選択する市町村に対して、合併が円滑に進められるよう、今後も各種支援を行ってまいります。

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
<p>V 重要政策の方向性 ①危機に強い安全・安心な地域づくり</p>	<p>・防災対応 海拔ゼロメートル地帯の津波想定地域の住民を、安全な高台へ移住促進させる補助金設置 堤防の越水決壊への対策。 スーパーコンピュータを使って愛知沿岸の津波シミュレーションの実施。そにより、問題点を浮き彫りにさせる。 東南海トラフ地震における1週間程度の事前避難において、愛知県としても浸水予定地域の住民の避難場所の一つとして宿泊施設などの活用を検討</p>	<p>ビジョンでは、災害リスクの高い地区における対策や、気候変動に伴う降雨量の増加や海面上昇等を見据えた水害対策、適切な避難体制の確保に向けた対策などを記載しており、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進め、危機に強い愛知をめざしてまいります。 また、ご意見については、担当局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ②次代を創る人づくり</p>	<p>・愛知県に住む外国人の生徒を含めた大学進学率の向上 愛知県に住む外国人の生徒にも受験の支援、奨学金制度などのトータル的にサポート。 それにより、将来的に愛知県の産業を支えるリーダー的人材の輩出を目指す。</p>	<p>ビジョンでは、高卒認定試験合格に向けた学習支援等を行う「若者・外国人未来塾における日本語学習支援を始めとした自立支援」などを記載しており、外国人生徒等の進学まで切れ目ない支援を行ってまいります。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ②次代を創る人づくり ③すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり ⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり</p>	<p>・愛知県立大学の強化と定員増 政府としても、有識者会議のなかで東京一極集中是正のため、国立大学に関して定員増へ検討着手するというなか、愛知県としても愛知県立大学の強化を図る。 具体的には情報科学部、情報科学研究科などの名古屋都心へのキャンパス移転。 それにより、ヒトモノカネ情報が集まるエリアにキャンパスを構えることでより起業の土壌を作る。 例えばステーションAiにキャンパスを作るなど。 日常的にスタートアップ企業と学生が交流できる場が出来れば起業率を高められる効果が期待できる。 また、リベラルアーツを目指した、文理横断学部の創設。 特にこれからの時代に求められる、グローバル人材、次世代産業に対応した人材の育成のために必須。 「総合社会工学部」等。定員増を図り、優秀な人材が全国から世界中から来てもらえるような施策。</p>	<p>愛知県立大学について、ビジョンでは、「重要政策の方向性②」において、異文化理解を促進する教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」の設置や、「多言語学習センター(iCoToBa)の活性化」、「留学生の派遣・受入れの充実」などについて記載しており、国際的に活躍できる人材の育成に取り組んでまいります。また、「重要政策の方向性③」において、「企業のモノづくり人材等を対象としたICT教育などのリカレント教育」の実施についても記載しており、産業界のニーズ等を踏まえた教育を進めてまいります。なお、愛知県立大学では名古屋駅前にサテライトキャンパスを設置しています。 さらに、「重要政策の方向性⑥」において、スタートアップの創出・育成において記述しており、企業、大学(愛知県立大学も参画)、経済団体、支援機関が参画した「Aichi-Startup推進ネットワーク会議」における「Aichi-Startup戦略」の推進など地域が一体となった取組を進めてまいります。 ご意見は、担当局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。今後も魅力ある大学づくりに取り組んでまいります。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
V 重要政策の方向性 ③すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・女性起業家全国トップを目指す 女性起業家全国一を目指し、女性にとって魅力的で活躍でき、働きやすい企業が広がる愛知へ。 首都圏への女性流出を食い止める 	ビジョンでは、「女性起業家・経営者の育成や、女性ならではの視点を活かした事業の拡大」の支援について記述しており、多くの女性起業家や経営者の活躍を促進してまいります。 また、「テレワークの普及や男性の育児参加の促進に向けた取組などにより、仕事と生活を両立しながら、性別に関係なくすべての人が働き続けることができる環境を整備していくこと」を記載しており、女性にとって働きやすい職場づくりに取り組んでまいります。
V 重要政策の方向性 ③すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県立大学で大人の学びの場を作る 社会人再教育制度の構築。 その一環として社会経験を積んだ中高年が、大学で再び学べるようにする。 歴史や街づくり国際的視野、そういった学びに意欲的な人材を積極的に取り込み、愛知県の地域リーダーとなってもらう。 東京都で実施されている東京都立大学プレミアム・カレッジが参考校。 	ビジョンでは、「◆人生100年時代の学び直し」を位置づけ、リカレント教育や生涯学習の推進に取り組んでまいります。愛知県立大学における「企業のモノづくり人材を対象としたICT教育などのリカレント教育」の推進や、大学と地域が連携した「一般向けの講座」の開催を記述するなど、生涯にわたって、能動的に学び続けられる環境づくりを進めてまいります。
V 重要政策の方向性 ④安心と支え合いの社会づくり	<p>P36の中で「不安を抱えても、支援を必要とする誰もが地域とのつながりを持ちながら住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるような社会をつくっていくことが重要である。」と定義されています。</p> <p>そうであるならば、住み慣れた地域で差別・偏見を受けることなく、安心して暮らしていくという視点も重要であり、そのための方角付けも必要だと感じる。</p> <p>◆被差別当事者（部落差別、障がい者差別、コロナ差別等）への支援を P43に挿入していただきたい。</p>	<p>「重要政策の方向性②◆多様性を尊重する教育の推進」において、「社会の多様化が進む中、子どもたちは、世代や性別、障害の有無、国籍・民族などを超えて、様々な違いを認め合い、多様な価値観・生き方を尊重しながら自分らしく生きていくことが期待される。」として、学校での人権教育や地域での多様性に関する学習機会の充実について、記述し、差別がなく、多様性が尊重される社会をめざしてまいります。</p> <p>また、「重要政策の方向性①◆新たな大規模感染症リスク等への対応」において「感染症に対する正しい知識の普及啓発」について記述するとともに「重要政策の方向性③◆障害のある人の活躍支援」において「障害を理由とする差別の解消や虐待防止に向けた相談体制の充実を図るとともに、NPOとの協働による障害に対する知識や理解を深めるための取組を進めていく。」と記載するなど、正しい知識の普及啓発等を通じた差別の解消を図ってまいります。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
<p>V 重要政策の方向性 ⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり</p>	<p>・第四次産業革命への対応「愛知 インダストリー4.0」 愛知県がインダストリー4.0における産業の集積地を目指す。それにより、人口減少社会においてもヒトモノカネ情報が集まり転入増加を目指す。 インダストリー4.0に対応できる人材の育成。 「愛知 インダストリー4.0」等と銘打って愛知県民への次世代産業への転換の啓発を促す。</p>	<p>本県は、CASEなどの技術革新により100年に1度と言われる大変革期を迎えている自動車産業を始め、農業や商業も含めあらゆる産業において、「イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり」を推進していくことで、第4次産業革命への対応を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、イノベーションを生み出す人材として、数理・データサイエンス・AI・ICTなどデジタル・トランスフォーメーションへの対応に必要となる知識・技術を有する人材、グローバルな視点を持った人の育成・確保についてビジョンに位置づけております。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり</p>	<p>・研究開発機能の強化 愛知県独自に汎用性の高いスーパーコンピュータを導入し、企業や研究機関、大学に研究開発の強化を促す。 第4次産業革命時代においても愛知県の産業の競争力を向上させる。 ちなみに、AMD社製の次世代EPYC搭載スーパーコンピュータはコストパフォーマンスの良さと、性能でこれから世界を席巻。</p>	<p>ビジョンでは、「あいち産業科学技術総合センターや、あいちシンクロトロン光センターの積極的な活用促進に加え、産学行政連携による「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」を始め、大学等の研究シーズ・成果をモノづくり産業の技術革新につなげる研究開発を推進し、その成果の普及のため、地域の企業等への技術移転を図っていく」ことを記載しており、第4次産業革命によるイノベーションをあらゆる産業に取り込み、新技術の開発や新産業の創出を促進し、本県の競争力の向上を目指してまいります。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり</p>	<p>・環境負荷が低く健康的な代替食品の推進 持続可能社会のため、地球環境に優しく健康に良い代替食品産業を愛知県としても推進。 代替肉等を手掛けるベンチャー企業への継続的な支援。</p>	<p>ビジョンでは、「(持続可能な農林水産業の実現)」を位置づけ、生物多様性の保全や農業生産に由来する環境負荷を軽減するため、環境保全に効果の高い農業生産活動に取り組む農業者等への支援に取り組んでまいります。</p> <p>また、ステーションAiを中核として、農業・食の分野も含めたスタートアップの創出・育成の取組を進めてまいります。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり</p>	<p>・愛知名産の発信 奇をてらった飯では無く、特に生産量の多いものに関して名産として発信していく。 養殖ウナギ、養殖あゆ、シラス、うずらの卵など。 肉用牛のブランド化促進、名古屋コーチンに代表する地鶏の、さらなる研究により美味しくブランド化させる。</p>	<p>ビジョンでは、「◆県産農林水産物の需要拡大」を位置づけ、新品種の開発や作物の高付加価値化やブランド化を進めていくこととしており、本県農林水産物の主要品目(名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎなど)の更なるブランド力強化や県開発品種のブランド化、さらに、愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」の展開やSNS等による県産農林水産物の魅力発信などに取り組んでまいります。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
<p>V 重要政策の方向性 ⑥◆スマート農林水産業等による生産力の強化 ⑩持続可能な地域づくり</p>	<p>自然調和・環境保護 愛知県全体で下水処理場の高度処理化を推進することにより河川や海の汚染を防ぐ。 浄化槽地域では、高度処理型の浄化槽に補助金を出す取り組みを行う。 また漁業資源を増やす取り組みとして、湾奥は窒素やリンなどの栄養塩は、海流が少ない等の理由により、海底に滞留するという問題に取り組むため、攪拌ブロック礁(人工漁礁)を設置する取り組みを行う。</p>	<p>本県ではこれまでも、河川や海域の水質汚濁対策の一環として、下水の高度処理や浄化槽設置費等補助(高度処理型は上乘せ)により浄化槽の整備に取り組んできたところです。ビジョンにおいても「重要政策の方向性⑩(海域環境の保全・再生に向けた取組)」に位置付け、これら取組を含む様々な事業を、様々な主体と連携・協働しながら展開し、三河湾や伊勢湾の海域環境の再生を進めてまいります。 また、湾奥への魚礁の設置は船舶の通行の妨げになるなど困難なことから、漁業資源を増やす取組については「重要政策の方向性⑥◆スマート農林水産業等による生産力の強化」において位置付けてあるとおり、本県の水産業の生産性を高めるために干潟・浅場や魚礁漁場、貝類増殖場の造成などに取り組むとともに、資源管理の強化や漁業生産に必要な栄養塩の確保などを進め、水産資源の増大に取り組んでまいります。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり</p>	<p>中部国際空港の強化 特に強風が吹くと連絡橋が通行止めになるため、天候に左右されない道路・鉄道海底トンネルの建設。</p>	<p>ビジョンでは、中部国際空港について、交通アクセスの強化や自然災害、感染症などに対する危機管理対策の促進など利便性、信頼性の向上に取り組むつつ、空港の機能強化に向けて取り組んでいくこととしております。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり</p>	<p>・港湾機能の強化 クルーズ船の受け入れが可能な岸壁・ターミナルの整備について 大型クルーズ船は名古屋港の金城ふ頭付近への整備に一本化させ、愛知県内で競合させない政策。</p>	<p>ご意見については、担当局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり</p>	<p>・ポートアイランドの活用と整備 自動車輸出基地としての整備。 ピオトープなどの自然公園としての整備。 釣り公園の設置。</p>	<p>ご意見については、担当局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり</p>	<p>・AIやビックデータ、5G等を活用したスーパーシティ(スマートシティ)の促進と実現 中部国際空港島や周辺地域だけでなく、愛知県で人口が一番多い名古屋市地域で実現させてこそ相乗効果が最も高まり、都市としての生産性が上がり愛知県の大きなメリットになる。そのため、名古屋市と協同して名古屋市のスマートシティ化の実現を図る。</p>	<p>国際交流の拠点である中部国際空港やAichi Sky Expoなどが立地する中部国際空港島及びその周辺地域で、スーパーシティ化に向けた検討を進めているところです。県内への展開については、「(地域特性に応じたスマートなまちづくり)」としてビジョンに位置づけております。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
<p>V 重要政策の方向性 ⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり</p>	<p>・東北圏との連携 東京一極集中是正のため地方発の地域創生を目指す。 特に東北圏は東日本大震災の被害を受けたり、東京圏への転出が常に続いたりと厳しい状況が続く。 愛知県企業の東北圏への工場進出や、東北圏からの人材の受け入れ。 愛知県と東北圏の人材交流を活発化(県庁職員同士の交流を含む)。 東北圏への修学旅行の活発化、東北の歴史など授業で触れる機会を増やす。 飛行機での中部国際空港と東北圏を繋ぐLCC等を活用。 愛知県としても、東北圏と共に地方を活性化させて地方創世に取り組み、日本全体の活性化に繋げる。</p>	<p>ビジョンでは、名古屋を中心とした概ね80～100km圏を中京大都市圏と位置づけ、名実ともにスーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏を形成をめざしていくことを位置付けています。 そのためには、ご意見のとおり、広域的な交流・連携が不可欠ですが、本圏域にとっては、北陸圏を始めとした隣接圏域との交流・連携が特に重要であると考え、「◆交流圏の拡大に向けた戦略的な広域連携」に位置付けております。 ご意見については、担当局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり</p>	<p>・インフラの維持更新 少子高齢化に伴い、インフラ更新やインフラの維持に多額のコストがかかることが見込まれるため、住宅地域の郊外化をストップさせて集約化させる。 コンパクトシティの促進化。</p>	<p>ビジョンでは、「(地域特性に応じたまちづくり)」として位置づけたとおり、集約型のまちづくりを始め、先端技術も活用した持続可能でスマートな地域づくりに取り組んでまいります。</p>
<p>V 重要政策の方向性 ⑩持続可能な地域づくり</p>	<p>・愛知県二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す 陸上の樹木のCO2削減はグリーンカーボンと呼ばれるCO2削減手法。 それに対し海中の海藻類でのCO2削減手法はブルーカーボンと呼ばれる。 愛知県としてブルーカーボンに先進的に取り組む。 例えば伊勢湾や三河湾の湾奥に海藻が増えるような取り組みをする。 品種改良等取り組むことにより、効率的に海藻が増えるような研究を行い、実現に取り組む。 日本政府としても2050年に二酸化炭素実質ゼロを目指すという目標を掲げるなか、将来的には、このブルーカーボン事業が民間へのビジネス化が出来れば 有望なビジネスとなる可能性がある。</p>	<p>ビジョンでは、2030年度の県内の温室効果ガス総排出量を2013年度比で26%削減という目標を掲げ、国の動向や、社会経済の変化に応じて点検、見直しを行いながら、引き続き、脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策を推進してまいります。 また、「◆脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進」に(環境・新エネルギー産業の振興)を位置付けており、地球温暖化の解決に貢献する環境・新エネルギー産業の支援に取り組む、環境と経済が調和した活力ある産業社会の構築をめざしてまいります。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
VI 地域別の取組方向	<p>P.82 上段 (原文) 県内各地域の地域づくりについて、尾張地域、西三河地域、東三河地域の3地域に分け、広域的な視点や、県内外の地域間連携などの視点も踏まえつつ、</p> <p>(修正意見) 県内各地域の地域づくりについては、<u>地勢、歴史など愛知が有する特色を踏まえ、尾張、西三河、東三河の3地域に分け、地域内連携や県内外との連携など多角的な視点も念頭において、…</u></p>	<p>この部分では、県内3地域別の地域づくりに関するセクションであることを、できるだけ簡潔にお知らせする意図で記載しております。</p>
VI 地域別の取組方向	<p>P.83 上段●1つ目 (原文) 多核連携型の都市構造を持つ本県においては、人口構造、産業構造、交通基盤などの状況が地域によって異なっており、本編で示した「2040年頃の社会経済の展望」も、それぞれ地域特性に応じた特徴を持つものと考えられる。</p> <p>(修正意見) 多核連携型の都市構造を持つ本県においては、暮らし、産業構造、社会基盤などの状況が地域によって異なっており、本編で示した「2040年頃の社会経済の展望」も、それぞれ地域特性に応じた特色を持つものと考えられる。</p> <p>*「多核連携型の都市構造を持つ」は、わかりづらいのでは。 *以降、見出しについて、「人口構造」は「暮らし」、「交通(交流?)基盤」は「社会基盤」としてはと考えます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「多核連携型」についての説明文を注釈として追加しました。</p> <p>また、ご指摘のとおり、「交通基盤」は、「交流基盤」の誤りのため、修正いたしました。</p> <p>なお、各地域の特色と将来展望の見出しである「人口構造」については、総人口の動向や人口分布、外国人人口などの状況、「交流基盤」については、広域交通インフラなどの社会基盤に加えて、観光交流などの状況に関する記載の見出しとしてそれぞれ設定しており、この言葉で統一させていただきます。</p>
VI 地域別の取組方向	<p>P.84 3地域のイメージ図 * 背後に、スーパー・メガリージョンや中京大都市圏のイメージを入れてみてはと考えます。 文字等で「地域内連携」、「県内外との連携」を入れてみてはと考えます。</p>	<p>イメージ図については、3地域及び山間地域・離島を地理的にお示しする意図で作成しております。ご意見については、PR用のパンフレット等の作成に向けて、参考にさせていただきます。</p>

該当部分	ご意見の概要	県の考え方
-	<p>○現行ビジョンの最大のテーマは、2027年のリニア開業を見据え、大交流圏の中で、産業の革新・創造拠点としての役割を担いながら、国内外から人、モノ、カネ、情報を呼び込む存在感ある中京圏大都市づくりです。しかし、現行ビジョンの主要事業であるリニア・ジェット(旅客機)・FTV(燃料電池自動車)は完全に行き詰まっています。</p> <p>○大企業応援・大型事業推進・社会保障削減の「愛知版アベノミクス」といわれる現行ビジョンは、新型コロナウイルスのもと破綻がますます鮮明になっています。</p> <p>○今、コロナ禍で社会のあり方や行政の脆弱性が根本的に問われているなか、現ビジョンを踏襲・継続することは大きな禍根を残します。ここは、立ち止まって、広く県民参加で、「新ビジョン」を策定すべきと思います。</p> <p>○次期あいちビジョンには、コロナ危機を乗り越え、県民の命・くらし第一、安心と希望の愛知づくりへの転換が求められているのではないのでしょうか。ビジョン案は、「めざすべき愛知の姿」の一つに「危機に強い愛知～感染症や自然災害等のリスクに負けない強靱な地域～」が加えられていますが、コロナ禍が様々な計画や施策にも大きく影響するにも関わらず、それらとの関連性が見えない案になっているのではないのでしょうか。また、ビジョンはリニア全線開業による人口7千万規模のスーパー・メガリージョン(巨大なエリア)のセンターを担う大都市圏づくりを大きく打ち出していますが、再検討すべきはと思います。</p>	<p>ビジョンでは、県民の皆様を始め、有識者懇談会、国、市町村、各種団体など様々なご意見をいただきながら、策定作業を進めてきました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の今後の影響については、次期あいちビジョン有識者懇談会の委員等に意見を踏まえ、ビジョンでは、めざすべき愛知の姿の一番目に「危機に強い愛知」を掲げ、その実現に向けた重要政策として「危機に強い安全・安心な地域づくり」を位置付けております。また、今回の感染症の拡大を契機に見えてきた新たな方向性についても重要政策の中に個別に位置付けております。具体的には、社会のあらゆる分野での急速なICT化を踏まえて、教育のICT環境の充実、テレワークの普及促進、次世代通信網と先端技術を活用したスマートなまちづくりの推進などを示しております。さらに、過密のリスクが顕在化していることを踏まえ、居住地としての魅力を創造・発信していくことについても打ち出しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越えるとともに、リニア中央新幹線の全線開業は本県にとって、大きなインパクトが見込まれるため、その効果を最大限に活用した地域づくりをしっかりと進めてまいります。</p>
-	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知環状鉄道分岐ルートをインフラファンドで建設してください。 ・中国共産党をきれいな香港住民を移民させ、豊田市に中華街を。 ・移民難民の受け入れを。 ・デザイナーベイビー研究して欲しい。 ・人間のサイボーグ化研究してほしい。 ・県庁を豊田市など三河地方に移転してほしい。 	<p>ご意見については、担当局と共有させていただきます。</p>